



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社三栄コーポレーション
 コード番号 8119 URL <https://www.sanveicorp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 敬幸
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 小平 敏之 TEL 03-3847-3500
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|------|-------|------|-------|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第2四半期 | 20,941 | 0.5 | 627 | — | 656 | 511.2 | 205 | — |
| 2019年3月期第2四半期 | 20,842 | △4.3 | 29 | △96.2 | 107 | △87.4 | △12 | — |

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △307百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 △221百万円(—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第2四半期 | 87.33 | 85.70 |
| 2019年3月期第2四半期 | △5.26 | — |

(注) 2019年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2020年3月期第2四半期 | 21,446 | 11,947 | 55.2 | 5,017.83 |
| 2019年3月期 | 25,231 | 12,468 | 48.9 | 5,263.43 |

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 11,839百万円 2019年3月期 12,340百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | — | 60.00 | — | 100.00 | 160.00 |
| 2020年3月期 | — | 60.00 | — | — | — |
| 2020年3月期（予想） | — | — | — | 100.00 | 160.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 43,000 | 1.1 | 1,100 | 46.2 | 1,100 | 33.0 | 500 | 155.4 | 211.91 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 有 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2020年3月期2Q | 2,552,946株 | 2019年3月期 | 2,552,946株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年3月期2Q | 193,413株 | 2019年3月期 | 208,313株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2020年3月期2Q | 2,352,416株 | 2019年3月期2Q | 2,374,230株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 9 |
| (追加情報) | 9 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、高い水準で底堅く推移している企業業績を背景として、雇用・所得環境の改善傾向が持続するなど、概ね緩やかな景気回復基調を辿りました。しかしながら、中国経済の先行き、米国の通商問題や英国のEU離脱交渉の動向等、日本経済を取り巻く外部環境の不透明感は続いております。

当社グループは、お客様のブランド商品を製造・品質管理・物流まで一貫して提供する「OEM事業」と、OEM事業で培ってきた海外ビジネスの知識と経験を活用し、自社ブランドや海外の秀逸なブランドを販売する「ブランド事業」という二つの事業とその相乗効果を追求するビジネスモデルを展開しております。

当第2四半期連結累計期間のOEM事業は、服飾雑貨事業セグメントの売上げが伸長したことを主因に増収となりました。ブランド事業につきましては、家電事業セグメントの売上げが増加しましたが、家具家庭用品事業セグメントおよび服飾雑貨事業セグメントの売上げが減少したことにより、事業全体では減収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、前年同期比0.5%増加の209億4千1百万円となりました。利益面につきましては、売上高の増加に加え売上総利益率も改善したことにより、売上総利益は前年同期比3億2千7百万円増加の60億3千6百万円となりました。営業利益につきましては、顧客ポートフォリオの見直しとともない販管費削減が進んだことにより前年同期比5億9千8百万円増加の6億2千7百万円となりました。経常利益につきましては、前年同期比5億4千9百万円増加の6億5千6百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、繰延税金資産の一部取崩しによる法人税等調整額の計上があったものの、前年同期比では2億1千7百万円増加の2億5百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

(家具家庭用品事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比8.9%減少の93億3百万円となりました。OEM事業では、国内家具の売上げが増加しましたが、欧米向け家庭用品の売上げが大幅に減少したことを主因に減収となりました。ブランド事業においては、ドイツテーブルウェアブランドの「Villeroy & Boch (ビレロイアンドボッホ)」等を取扱う㈱エッセンコーポレーションの売上減少により減収となりました。

セグメント利益については、売上高は減少しましたが、採算性の観点から北米ビジネスを大幅に縮小したことにより売上総利益率の改善と販管費の削減が進んだことから、前年同期比3億4千6百万円増加の5億3千4百万円となりました。

(服飾雑貨事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比9.1%増加の75億5千4百万円となりました。OEM事業では、トラベル商材を中心に国内向け海外向けともに売上げが増加しました。ブランド事業においては、ドイツのコンフォートシューズブランド「BIRKENSTOCK (ビルケンシュトック)」等を販売する㈱ベネクシーおよびベルギーのプレミアム・カジュアルバッグブランド「Kipling (キプリング)」を販売する㈱L&Sコーポレーションの売上げが減少しました。

セグメント利益については、売上総利益率は低下したものの売上高が増加したことから、前年同期比1億8百万円増加の2億7千1百万円となりました。

(家電事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比9.2%増加の29億9千5百万円となりました。OEM事業では、中国国内向けの売上げが増加しました。ブランド事業においては、理美容家電・調理家電などを取扱う㈱mhエンタープライズおよび業務用ブレンダー「MULTI CHEF (マルチシェフ)」などを取扱う㈱エス・シー・テクノの売上げが伸びたことから増収となりました。

セグメント利益については、売上高の増加に加え売上総利益率も改善したことから、前年同期比2億2千3百万円増加の2億4百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ37億8千4百万円減少の214億4千6百万円となりました。

主な資産の変動は、「商品及び製品」が2億1千万円増加した一方、「現金及び預金」、「受取手形及び売掛金」、「投資有価証券」がそれぞれ19億2千4百万円、12億2千7百万円、6億5千1百万円減少しております。

主な負債の変動は、「短期借入金」、「支払手形及び買掛金」、「繰延税金負債」がそれぞれ23億1千万円、4億8千3百万円、1億6千7百万円減少しております。なお、2019年7月末日付で当社第1回無担保社債（適格機関投資家限定）6億5千万円を発行し、長期借入金の一部に代替して資金調達しております。

主な純資産の変動は、「その他有価証券評価差額金」が4億4千4百万円減少しております。

この結果、自己資本比率は55.2%、1株当たり純資産は5,017円83銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直を行った結果、2019年5月15日付「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました2020年3月期の通期業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日付で別途公表しております「2020年3月期第2四半期業績予想と実績の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,773,517 | 2,848,829 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,722,462 | 4,494,973 |
| 有価証券 | 45,679 | — |
| 商品及び製品 | 6,678,439 | 6,888,990 |
| 仕掛品 | 52,112 | 75,334 |
| 原材料及び貯蔵品 | 177,098 | 234,656 |
| 前渡金 | 320,511 | 86,278 |
| 前払費用 | 186,197 | 148,945 |
| その他 | 389,615 | 396,653 |
| 貸倒引当金 | △4,478 | △3,240 |
| 流動資産合計 | 18,341,156 | 15,171,420 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,248,644 | 1,276,154 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 177,201 | 191,396 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 229,843 | 244,396 |
| 土地 | 665,828 | 665,828 |
| リース資産（純額） | 10,576 | 9,322 |
| 建設仮勘定 | 34,844 | 45,622 |
| 有形固定資産合計 | 2,366,938 | 2,432,720 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 861,792 | 903,817 |
| 投資有価証券 | 2,845,020 | 2,193,533 |
| 長期貸付金 | 13,221 | 11,991 |
| 繰延税金資産 | 137,154 | 52,347 |
| 破産更生債権等 | 844 | 844 |
| その他 | 707,854 | 719,974 |
| 貸倒引当金 | △42,374 | △39,886 |
| 投資その他の資産合計 | 3,661,721 | 2,938,805 |
| 固定資産合計 | 6,890,452 | 6,275,343 |
| 資産合計 | 25,231,609 | 21,446,764 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,303,170 | 1,819,523 |
| 短期借入金 | 5,510,050 | 3,200,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 950,000 | — |
| リース債務 | 2,708 | 2,031 |
| 未払金 | 1,165,431 | 1,027,822 |
| 未払費用 | 426,092 | 367,335 |
| 未払法人税等 | 340,106 | 289,840 |
| 未払消費税等 | 99,279 | 50,676 |
| 賞与引当金 | 367,504 | 353,616 |
| 役員賞与引当金 | 4,950 | 14,356 |
| 商品自主回収関連損失引当金 | — | 40,000 |
| その他 | 486,295 | 427,007 |
| 流動負債合計 | 11,655,588 | 7,592,210 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | — | 650,000 |
| 長期借入金 | 250,000 | 550,000 |
| リース債務 | 8,041 | 7,364 |
| 繰延税金負債 | 495,642 | 327,832 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 70,058 | 70,058 |
| 役員退職慰労引当金 | 49,385 | 53,715 |
| 退職給付に係る負債 | 156,368 | 166,972 |
| 資産除去債務 | 62,526 | 65,260 |
| その他 | 15,407 | 15,407 |
| 固定負債合計 | 1,107,431 | 1,906,612 |
| 負債合計 | 12,763,020 | 9,498,822 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,000,914 | 1,000,914 |
| 資本剰余金 | 674,460 | 688,256 |
| 利益剰余金 | 9,736,100 | 9,707,064 |
| 自己株式 | △413,182 | △383,629 |
| 株主資本合計 | 10,998,293 | 11,012,605 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,338,491 | 893,673 |
| 繰延ヘッジ損益 | △52,045 | △51,703 |
| 土地再評価差額金 | 158,741 | 158,741 |
| 為替換算調整勘定 | △102,668 | △173,580 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,342,519 | 827,130 |
| 新株予約権 | 100,537 | 78,828 |
| 非支配株主持分 | 27,238 | 29,377 |
| 純資産合計 | 12,468,588 | 11,947,942 |
| 負債純資産合計 | 25,231,609 | 21,446,764 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 20,842,448 | 20,941,831 |
| 売上原価 | 15,133,437 | 14,904,848 |
| 売上総利益 | 5,709,011 | 6,036,982 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売費 | 1,341,604 | 1,197,959 |
| 一般管理費 | 4,338,017 | 4,211,405 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 5,679,622 | 5,409,364 |
| 営業利益 | 29,388 | 627,618 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7,393 | 13,632 |
| 受取配当金 | 22,221 | 22,825 |
| 有価証券売却益 | — | 2,439 |
| 為替差益 | 47,007 | 1,247 |
| その他 | 26,664 | 13,753 |
| 営業外収益合計 | 103,286 | 53,898 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 17,476 | 19,601 |
| 有価証券売却損 | — | 4,289 |
| デリバティブ評価損 | 4,964 | 546 |
| その他 | 2,791 | 415 |
| 営業外費用合計 | 25,232 | 24,853 |
| 経常利益 | 107,442 | 656,663 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 4,102 |
| 投資有価証券売却益 | — | 9,621 |
| 特別利益合計 | — | 13,724 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 5,040 | 4,705 |
| 固定資産売却損 | — | 124 |
| 貸倒引当金繰入額 | 1,615 | — |
| 商品自主回収関連損失引当金繰入額 | — | 40,000 |
| 特別損失合計 | 6,656 | 44,829 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 100,786 | 625,557 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 130,233 | 302,631 |
| 法人税等調整額 | △19,446 | 115,360 |
| 法人税等合計 | 110,787 | 417,991 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △10,000 | 207,566 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 2,499 | 2,139 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △12,499 | 205,427 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △10,000 | 207,566 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △116,595 | △444,818 |
| 繰延ヘッジ損益 | △18,265 | 342 |
| 為替換算調整勘定 | △76,619 | △70,911 |
| その他の包括利益合計 | △211,480 | △515,388 |
| 四半期包括利益 | △221,481 | △307,822 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △223,980 | △309,961 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 2,499 | 2,139 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 100,786 | 625,557 |
| 減価償却費 | 226,646 | 233,781 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △856 | △3,705 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △67,330 | △11,415 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | △3,855 | 15,411 |
| 受取利息及び受取配当金 | △29,615 | △36,458 |
| 支払利息 | 17,476 | 19,601 |
| 固定資産除却損 | 5,040 | 4,705 |
| 商品自主回収関連損失引当金繰入額 | — | 40,000 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | — | △3,978 |
| 有価証券売却損益 (△は益) | — | 1,850 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | — | △9,621 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 750,632 | 1,159,215 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △594,231 | △302,647 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △297,707 | △204,922 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △103,365 | △108,367 |
| その他 | △234,623 | △117,706 |
| 小計 | △231,003 | 1,301,301 |
| 利息及び配当金の受取額 | 29,615 | 36,458 |
| 利息の支払額 | △17,483 | △18,646 |
| 法人税等の支払額 | △428,935 | △350,047 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △647,807 | 969,065 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △178,130 | △220,608 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 5,421 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △43,674 | △125,813 |
| 有価証券の売却による収入 | — | 58,076 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △8,880 | △9,266 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 16,933 |
| 貸付金の回収による収入 | 1,230 | 1,230 |
| その他 | △32,771 | △16,328 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △262,227 | △290,355 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △1,100,000 | △2,310,050 |
| 長期借入れによる収入 | — | 300,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | — | △950,000 |
| 社債の発行による収入 | — | 650,000 |
| 自己株式の取得による支出 | △205,226 | — |
| 自己株式の売却による収入 | — | 8 |
| 配当金の支払額 | △239,013 | △234,463 |
| その他 | △4,700 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,548,939 | △2,544,505 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △70,547 | △58,892 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △2,529,522 | △1,924,687 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,630,595 | 4,773,517 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,101,073 | 2,848,829 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

② 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(追加情報)

(会計方針の変更)

当社グループにおける商品及び製品の評価方法は、従来、月次総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）によっておりましたが、一部のたな卸資産について、当連結会計年度から移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

この変更は、当社グループ全体を一つのサーバーで管理するという業務基盤システムの高度化を目的とした新基幹システムの導入プロジェクトを契機として評価方法の見直しを行ったものであります。

なお、過去の連結会計年度につきましては、移動平均法による単価計算を行うことが実務上不可能であり、当連結会計年度の期首時点における遡及適用した場合の累積的影響額を算定することができないため、前連結会計年度末の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高として、期首から将来にわたり移動平均法を適用しております。

当該会計方針の変更による影響額は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|--------------|------------|-----------|------------|--------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 家具家庭用品 事業 | 服飾雑貨 事業 | 家電事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,216,976 | 6,924,624 | 2,744,073 | 19,885,674 | 956,773 | 20,842,448 | — | 20,842,448 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 6,992 | 24,240 | 5,375 | 36,608 | 30,216 | 66,824 | △66,824 | — |
| 計 | 10,223,969 | 6,948,865 | 2,749,448 | 19,922,283 | 986,989 | 20,909,273 | △66,824 | 20,842,448 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 188,132 | 162,979 | △19,043 | 332,068 | △5,149 | 326,918 | △297,530 | 29,388 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△297,530千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|--------------|------------|-----------|------------|--------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 家具家庭用品 事業 | 服飾雑貨 事業 | 家電事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,303,181 | 7,554,943 | 2,995,794 | 19,853,918 | 1,087,912 | 20,941,831 | — | 20,941,831 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 45,331 | 5,053 | 50,385 | 48,749 | 99,134 | △99,134 | — |
| 計 | 9,303,181 | 7,600,274 | 3,000,847 | 19,904,304 | 1,136,661 | 21,040,965 | △99,134 | 20,941,831 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 534,172 | 271,597 | 204,056 | 1,009,826 | 3,362 | 1,013,188 | △385,570 | 627,618 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△385,570千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。